

1. 前回審議会でいただいた意見への対応

対応方針（1/3）

▶ 前回審議会にていただいた意見は貴重な参考意見として承ったものと認識しているが、改めていただいた意見と回答について共有する

No.	ご意見	当日回答
1	（前回の審議会が出た、「空き家バンク成約数のみでなく、登録数と成約率も成果指数にいれるべきでは」という意見について）実際の空き家の数を把握しているのであれば、それを施策に入れていくのがよいではないかという意味合いで発言した意見だった。	空き家の調査は今年度実態調査を実施したばかり。その中で活用できそうな空き家などが空き家バンクに反映されているかなど内部で把握しているので、そちらを生かしていきたいと考えている。計画への記載はこのままで進めていく。
2	定住施策で若者に定住してもらおうとあるが、具体的な案はあるのか。	転入者数は過去5年で上がっているが、転出者がそれを上回っているのが現状。まずは出ていかない施策を打っている。メインターゲットは子育て世代となっているが全体として考えているので、交流人口を増やししながら市の魅力アップにつなげていきたい。
3	若者を集めるために誘致する企業の考えはあるか。多久市にはファストフードやファミレスなどもなく、若者向けのアプローチができていない。	今までは工場関係の誘致がメインだったが、関係課に意見を共有し、商業向けの誘致を検討していく。
4	買い物する場所が多久市にはなく、バスで武雄まで通っている。高齢者が買い物できる場所があればいいと思うが、市ではどう考えているか。	商業施設の誘致としては議会にも意見が上がっており、関係課と連携して誘致を検討していく。
5	5-5の施策で、定住奨励金はどこの自治体でもやっている。この施策自体は効果がないのではないか。 観光系で中国人が減っているとあるが、あまり困っていない、あまり損益はないと聞いている。嬉野市は欧米の方に長期滞在してもらおうようにシフトしている。多久市も観光資金を落としてもらおうという意味では、他の国の方を呼ぶ施策を考えたほうがいいのか。	貴重な意見として承る。

1. 前回審議会でいただいた意見への対応

対応方針（2/3）

▶ 前回審議会にていただいた意見は貴重な参考意見として承ったものと認識しているが、改めていただいた意見と回答について共有する

No.	ご意見	当日回答
6	東多久に住んでいるが、地域おこし協力隊の方と交流したことがない。多久市に期待してきて訪れたが、期待外れだった、ということが推察できる。今後は多久市の現状をきちんと説明してから来てもらうのがよいのではないか。	地域おこし協力隊の方の活動にはミッションをつけている。ミッションをもとに来ていただき、3、4年後にどうなっていくかという前提で携わっていただいている。集落支援員、地域おこし協力隊ではそれぞれ役割があり、役割を生かして地域の活性化につなげていきたい。
7	市長が選ばれたとき、市民病院の跡地に道の駅を作りたいという話をしていた。道の駅で販売するものを供給しないと長続きしない。農作物を含めて、一品運動を進めるのがいいのではないかと考えている。そういった役割を支援員や協力隊の方々に担っていただけるとよいのではないかと考える。	参考意見として承る。
8	子育て支援について、小さい子供が生まれた情報がなく、交流する機会がない。子供が生まれたとき、地域のほうから手を差し出していければ、あじさいや学校に通い始めてからでなくとも、未就学児からでも地域の子供として育てていくことはできるのではないか。	以前は地域の連携で子供を見守っていたが、今は保護者の意向などもあり、つながりが薄いこともある。いただいた意見は関係課で共有していく。
9	多久市の目玉となるような施策がないと、30年前と変わらない計画を繰り返しているように思う。特に力を入れる施策を打ち出してほしい。	総合戦略にて人口や地方創生に特化した施策を打ち出しているため、参考に留める。
10	市外の方からはスクールバスが出ていいねと言われるが、中学生（7・8・9年生）は乗れないので、雨の日だけでも乗せてあげられないか検討してほしい。	今現在も距離によっては中学生も乗れるが、雨の日などの対応については担当課に意見を共有する。

1. 前回審議会でもいただいた意見への対応

対応方針 (3/3)

▶ 前回審議会でもいただいた意見は貴重な参考意見として承ったものと認識しているが、改めていただいた意見と回答について共有する

No.	ご意見	当日回答
11	江北町からの路線バスがない。高校の生徒の獲得ではいろんな地区からの人が欲しいが、パイの取り合いになっている。多久市は地理的要件がいいので、アクセスさえよければ来てくれるのではないかと考えている。今現在、自転車で通学している生徒は少なく、親の送迎が多い。	市町をまたがる公共交通機関を確保するのは民間事業者との兼ね合いなどもあり難しい。今はない路線で需要があるところに関しては状況確認しながら進めていきたい。要望等があった旨は把握しておく。
12	企業誘致について、多久市の魅力をもっと発信して有名な企業などが誘致できたら人が集まってくると思っている。市民や行政ができることは違ってくると思うが、多久のアピールをしていければと考える。	参考意見として承る。
13	5年後の多久市を文章だけではイメージがわからないので、絵で未来想像図を計画に載せたらどうか。	デザインについては今後考えていく。他の自治体だとイメージ図や写真を載せたりなどしているので、いただいた意見については参考にしていきたい。
14	中学校、小学校に子供が通っている。一貫校ではどうしても9年間同じ人間関係が続く。学外で交流があるが、9年間同じメンバーで社交性が育たないまま通わせていいのかと考えている。今すぐ生徒数が増えるとは思わないが、市が今後のために考えていかなければならないことなのではないか。学力を指標としているが、学力で測れないものや、安心して通える学校づくりを目指してほしい。	参考意見として承る。
15	後継者が集まらないことで、伝統芸能も続けられない現状であるが、多久市をアピールするためにも伝統芸能を残していきたい。	地域の伝統芸能は大切なものだとして認識している。どんなバックアップをしていくかは即答できかねるが、後継者不足に関しては関係課と連携して方策を考えていく。